

題 言

スランプテスト大流行

混凝土工事ある處に必ずスランプテストありと言ふも過言でない程、今やスランプテストの實行は普及して來た。工事研究會が分譲しつゝあるスランプテスト用具は既に殖民地及び内地各方面數百ヶ所に及んだ。

『スランプテスト位の簡単な試験ならば現場に於ても大した手数でない』と言ふ衆評が一致して益々此の流行を盛んにしたものと思はれる。

此の簡單なる試験器具が、兎角無自覺と無研究に流れんとする現場工事を、覺醒して合理化に導きつゝある事は、近年工事界に於ける偉大なる効果である。

關西に移る工事の中心地

帝都復興の大工事が漸く竣工に近づき、今や大工事の中心地は大阪方面に移らんとしてゐる。

一月二十九日の大阪市地下鐵の起工を初として、大阪府の十三橋ケーソン工事も近く送氣を始めらるべく、阪神間の海には民間の大埋立工事が近く數ヶ所も起工さるべく豫期され、鐵道及び軌道の高架線工事等も目下大に進行しつゝあり、其他都市計劃の道路、橋梁工事、河川工事等實に隆々たる盛觀を呈せんとしてゐる。

今や諸事業不振の際に、セメント、鐵材、其他工事用材料の低廉なるを利用して大工事を起すは最も時期を得たものである。

三種の架桁工事

本號に寫眞を以て紹介せる、神通川橋梁と、矢作川橋梁と、ウド谷橋とは何れも鐵道橋にして、橋の型式も異り、架桁方法も異り、各其土地及び構造物の條件に應じて適當なる工法を施行したものと云へる。

此等の現場工事を巧妙に施工する事は工事技術者の興味ある研究と實行的勇氣に依つて出来るものである。特に西浦氏のハネ上式架桁機は其使用方法が頗る簡單であり、安全である處に特長がある。我々は西浦氏が現場人として此種の工法を完成したる努力を多とせざるを得ない。

眞に技術を實行する時

あらしの様な第二次普選も愈々十九日夜半を以つて其幕を閉ぢた。數日の後には當落も明になる。

第一次普通選舉戦には割合に請負業者の中から當選者があつた、然しそれが爲めに我國の技術的進歩は何物もなかつた。而して請負業以外の人で技術的立國を強調する様な人は餘り出てゐない様であつた。今度は何うなるか、技術家と言ふ變な階級は政治には常に旗色が曇つてゐる、然し今度の當選者から眞劍なる技術的經綸家の數人を得る事が出来れば我々は以て満足すべきである。

材料費の低下

一般政府關係の工事が不振なる爲めに幾何の失業者を生じつゝあるかは今明に知る由もないが、之を工事用諸材料の時價より見る時は、先づセメント一樽が金二圓五十錢の安値と稱され、然もセメント製造業界は四割餘の限産を協定實行しつゝあつて尙ほ且つ此の安値である。斯かる際他の諸材料が何れも殆んど製産實費を割らんとしてゐるのも又止を得ない事である。勞銀に至つては未だ低下を見ずと言はるゝも、昨今の諸種の工事入札の結果は單に材料のみの低下とは見られない點がある。最近或入札に於ては豫算金七十餘萬圓のものを僅かに四十餘萬圓にて落札したる例もある。

斯かる現象が經濟界の過渡期に於ける一變態であるか、或は順路であるかは暫らく別問題とし、唯工事技術者としては一層の研究的實行に進み度いものである。